

「第5次香芝市総合計画」及び「香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 進捗確認についての意見(第2回・第3回会議より)

<各施策及び事業への意見>

政策1 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)について

・施策5「家庭・地域・学校の連携」の「②-1 青少年体験交流事業」について、「予算に限りがあるため、費用のかからない事業を検討する」とあるが、ニーズがあるのであれば、コスト拡大を検討すべき。
不要なコストの削減は必要であるが、必要なコストを削減し、事業の質が低下してしまうことを懸念する。

政策2 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)について

・施策2「子育て支援の充実」①-1「地域子育て支援拠点事業」のファミリー・サポート・センター事業について、可能な部分はデジタル化するなど、効率的な運用を検討いただきたい。また、事故の予防や啓発の観点で、サポート会員への定期的な研修を実施いただきたい。

政策3 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)について

・生涯学習や文化振興の分野では、施設利用者や稼働率を評価指標とされているが、社会的に恵まれた方が施設を利用していけばよいということではなく、特に社会的に弱い立場の方も、文化・芸術活動に参加するための支援が必要だと考える。
・部活動でのスポーツ部は外部の指導や支援を受けやすいが、文化部にはそのような支援は乏しい。社会教育的な立場からも、市や市民活動団体がバックアップしていくことも必要である。

政策4 まちの活力と魅力の向上のために。(産業・観光)について

・施策17「商工業の振興」について、香芝みらい塾や補助金制度など、県下でも先導的な取り組みであり、市内企業の活性化に寄与している。地域ブランド KASHIBA+は、方向性やPRの方法について、工夫していく必要がある。
・施策18「農業の振興」の①-2「地産地消推進事業」について、米の価格低迷が続いているため、農業を辞められるケースも多くあり、遊休農地が年々増えている。これを食い止めるためにも、酒米の作付面積の拡大には積極的に取り組んでいただきたい。

<全体への意見>

- ・市が実施するセミナーについて、参加者が目標に達していないものがいくつかあるため、今後はオンラインも併用し、必要な情報にアクセスしやすい工夫を検討する必要がある。

- ・補助金の利用促進のため、企業などとも関係の深い税理士や行政書士等の士業の方に周知することを検討いただきたい。
また、市の補助金について、対象分野ごとにどのような補助金があるか一目でわかりやすい資料作成に努めること。

- ・香芝市は、他市と比較して職員が少ない状況にあるため、各計画の実施にあたっては、それらの根本的な要素も含めて方針を示していただけると分かりやすい。
また、計画等を策定した場合は、HPでの公表等により、進捗報告をしっかりと行っていただきたい。

- ・評価にあたっては、コストの増減の判断を下すだけではなく、反省すべき点や課題点をしっかりと振り返り、真実に基づき、誠実に取り組むこと。

- ・個々の事業だけでなく、事業間や部局間での連携を積極的に行っていただきたい。

- ・行政評価とは、課題や問題点を洗い出し、絶えず改善や工夫に努めていくことが正しいあり方であると考えられる。そのため、縮小や廃止の評価であっても、正しい改善を図るという意味でポジティブな評価であるという意識を全体で共有し、行政評価の意義を深めていただきたい。

- ・香芝市のようなベッドタウンでは、人口減少や少子高齢化といった全国的な課題が意識されにくく、慢心状態に陥りやすい。今後はより一層危機感をもって、地域課題に根差した政策を推進する必要がある。

- ・事業を大きく転換するときや方向性の判断に迷ったときには、積極的に都市経営市民会議での審議を活用いただきたい。